



専門部会の活動状況の概要 (4 専門部会の活動状況)



総務部会

部会長 坂元 政男

総務部会では、概ね次の活動を行っています。

1. 和歌山市老人クラブ連合会の業務全般についての各部間の調整を行っています。
2. 和歌山市老人クラブを始めとする関連団体との調整を行っています。
3. 社会奉仕活動、友愛訪問等に関しても積極的に取り組んでいます。
4. 年1回和歌山市老人クラブ役員の資質の向上を図るため、県外、ほかの市の業務推進状況などについて交流会を開き、研修を行っています。
5. 会員の加入促進に努力をしています。
6. そのほか各部に属さない事項については、交流会を開き情報などの交換を行っています。



大津市ふれあいプラザでの和歌山市老連・大津市老連の参加者



教養部会

部会長 切目 忠男

教養部会で管掌する部会業務は大綱次のとおりです。

1. 会員の意気の高揚を図るため、機会のあるたびに「市老連憲章」および「市老連の歌」の普及、および指導を行っています。
2. 会員の各種研修の計画指導を行っています。また各部独自の研修の実施については、その手法、時期、やり方などをアドバイスし、実効を期しています。
3. 福祉に関しては、1年の中で最も重点を置いて実施しているのは、老人クラブ員として「老化防止」「介護の周知」また「専門医学」などについて、年次計画を立てて、専門講師をまねき「講話」「講演」「実技」など年2回程度実施して、効果を得ています。
4. 会報は年2回発行。約10年あまり刊行していますが、会員一人ひとりに市老連本部、各部会の行事、および各単位の催し、各部対抗行事の内容、そのほかスポーツ大会、レクリエーション行事などを広く公表する「PRの役目」にも活用するなど実効を図っています。
5. そのほか教養部会として、ほほ笑ましい小学校や保育所などの学童との交流活動にも積極的に取り組み、実効を図っています。
6. また自治会や婦人会との連携作業についても、地区連合会長と連絡を保ち実効を図りつつあります。



高齢者福祉問題研修会(受講風景)



いきがい部会

部会長 石田 等

1. いきがい部会の管掌事務について

- (1)安全対策に関すること
 - (2)趣味および娯楽に関すること
- を管掌している。

2. いきがい部会の構成について

- (1)部会は理事をもって構成し（以下部員という）、部会長1名、副部会長1名、部員11名 計13名で構成している。



3. 活動状況の概要について

- (1)親睦旅行（1泊）を年1回11月に実施している。近年の参加人員 平均256名
- (2)芸能大会は年1回1月または2月に実施している。近年の参加人員 平均610名



体育部会

部会長 神谷 誉章

体育部会では次の業務を推進しています。会員の健康、体力の維持増強を図るため、各種スポーツ大会を開催しています。

○スポーツ大会

▶個人競技…借物競争、コップ運び競争、スプーン競争、障害物競走、クラブボール競争

▶団体競技…ボール送り、玉入れ、アベックレース

○生涯スポーツ大会

ゲートボール、ペタンク、グラウンドゴルフ、ゲートゴルフ各大会（年1回）開催 など





女性部会

○女性部の規約に基づく4部会の活動状況について

会則の定めるところにより、女性部員相互の親睦を図り、活動を通じて、常に明るく健康な生活を送りながら、市老連の発展と社会に貢献する目的をもって、次の4部会を設け数年ごとそれぞれに活動計画を樹立し事業を推進しています（会則は平成8年4月樹立）。

1 つれもて行こう会

担当責任者 野上とよこ

女性部の「つれもて行こう会」は結成して早や十数年になります。手軽に友達と会話しながら遠足気分の日帰り旅行なものですから、春秋の気候のよい日に「つれもて行こう会」を気軽に実施しています。最近の状況をご紹介します。



- (1) 24年10月には、青蓮寺湖ぶどう狩りに行きました。地震の神様の参拝見学でしたが、参加者1,700名で人気がありました。
- (2) 25年4月には、日本の桜の名所といわれる滋賀県海津大崎桜の見物と、ブルーメの丘のチューリップ見学でこれも人気があり、2,230名の参加でした。
- (3) 矢継ぎ早の感じですが、25年9月には、但馬の小京都の出石城下町と出石のシンボル辰鼓楼と出石神社の見学。1,530名の参加でした。

これからも「つれもて行こう会」の名称どおり、紀州弁の連れ立って楽しく日帰り旅行にいきましょう、ということでお誘いします。より楽しい旅を計画しています、ご参加をお待ちしています。

2 元気で行こう会

担当責任者 野上とよこ〈代理〉

25年の5月22日に会員皆様のご希望により海南市の県立博物館に行ってきました。(参加者204名)

- (1) 博物館の構内は元「温山荘」の跡地で、広大な敷地に海を取り入れたもので敷地内を散歩させていただきました。博物館の主な状況について明記しますと、
- (2) 博物館内には色々な海の生物が大きな水槽の中で泳ぎ、博物館といってもなにか偉大な水族館のように見受けられました。会員(見学)の皆さんも地区の方々と楽しそうに話し合っている姿が印象的でした。

皆さんの申し合わせにより、来年もまた元気で来ることを誓い合って解散しました。



黒潮の海：幅15m、一枚ガラスの大水槽。ナルトビエイやロウニンアジなどがゆうゆうと泳いでいます。まるで、海中に身を置いたかのような臨場感です。



群れる魚 沿岸の生き物：群れをつくるイワシと、サンゴやクラゲ、ウミシダなど和歌山の沿岸にすむ色々な生き物を展示しています。



深い海：おもに日本の太平洋側に生息する世界最大のカニ、タカアシガニです。

- ① つれもて行こう会 ② 元気で行こう会
③ お茶を飲もう会 ④ 歌を歌おう会

各担当部長は趣向を凝らして、毎年実行計画を樹立し、それぞれの各部に何百何十人の方々が参加して盛大に実行しています。具体的にはそれぞれの部会長の記事をご覧ください。



3 お茶を飲もう会

担当責任者 波多野志津子

当会では年2回の行事を行っています。

○春は花見会を（3月31日前後）和歌山城内護国神社前にて開催しています。花見会では毎回420人から430人が参加して下さり、皆さんにはささやかな参加賞をお渡ししています。満開の桜の下でお弁当をいただいた後、おしゃべりをしたり、歌を歌ったり、踊ったり、楽しいひとときを過ごした後、城内を散策しながら帰っていきます。



○秋には手芸教室を「あいあいセンター」にて開催しています。作品は手提げ袋や小物入れ、タオルや風呂敷などを使い、2時間くらいでできる作品を考えています。

4 歌を歌おう会

担当責任者 佐々本知代

歌を歌おう会では、ふれ愛センター4Fで、年5回程度、各地区から歌の好きな方々が集い、各自得意の曲を選び、機器の操作も行いながら、互いに睦まじく練習に励んでいます。そして年1回発表の場として「カラオケ大会」を催し、市老連会長様はじめ大勢の出演、応援をいただく中、次から次へと熱唱し、会場内はその響きと熱気であふれています。これからも健康、生きがい、交流の場として、楽しく歌い続けていけますよう願っています。

